

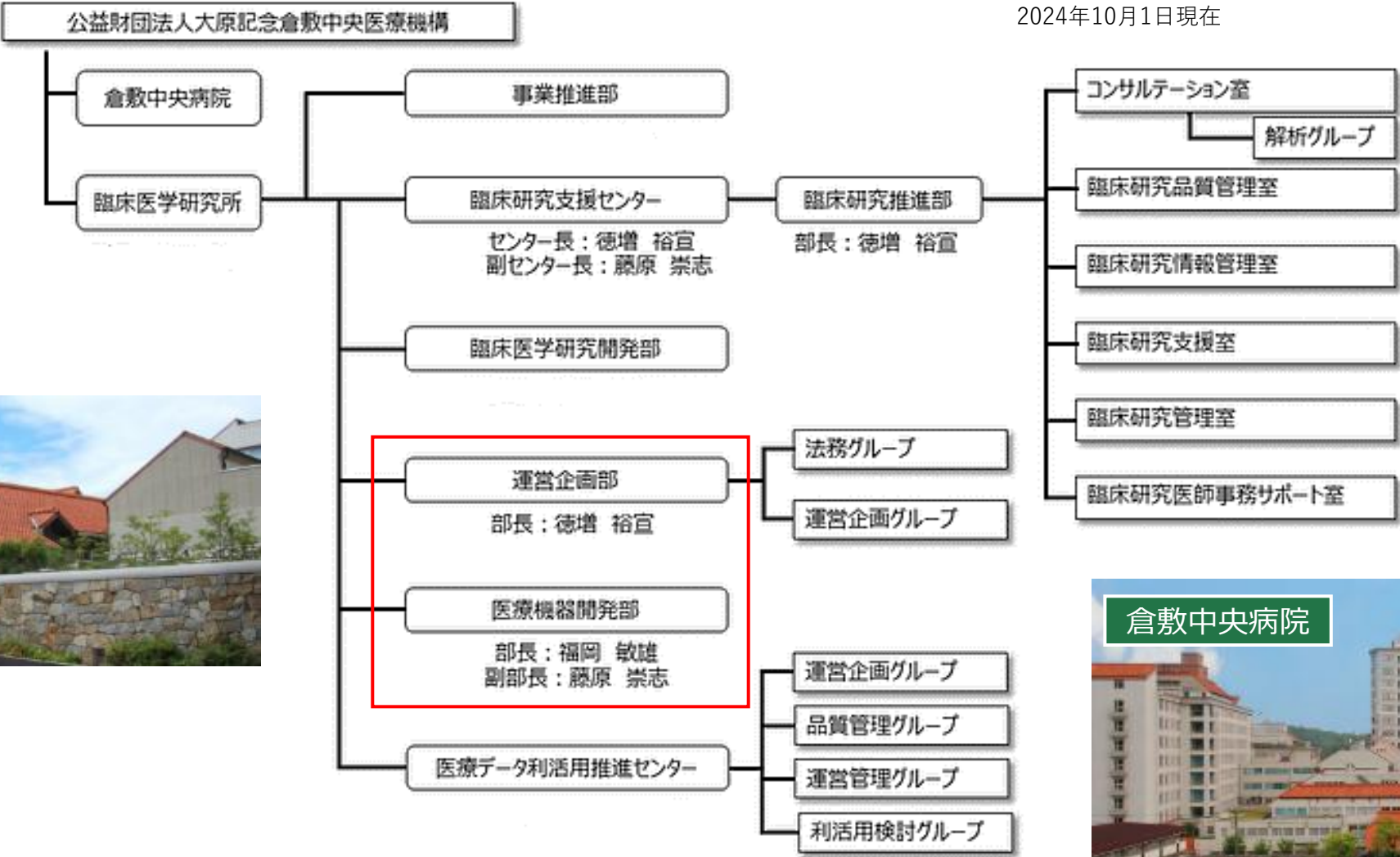
AMED医工連携イノベーション推進事業 地域連携拠点自立化推進事業

## 『広域的なインフラや地域資源を活かした 中国・四国地域連携ハブ拠点の運用推進事業』

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構  
研究開発代表者：徳増 裕宣

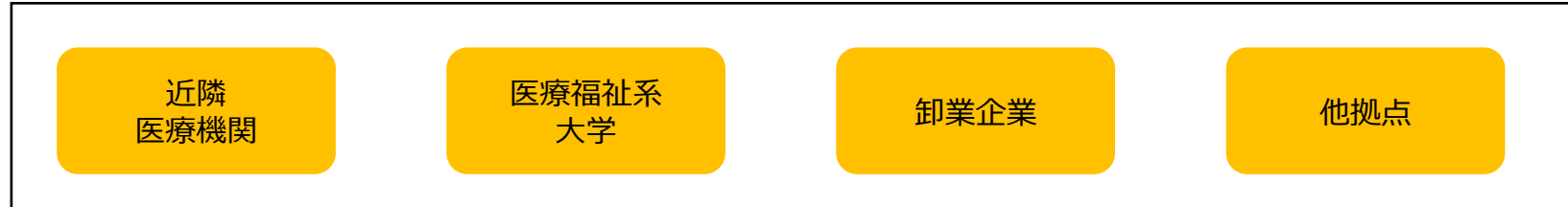
# 当拠点の紹介①

2024年10月1日現在



### 特色・強み：ユーザビリティ評価の推進

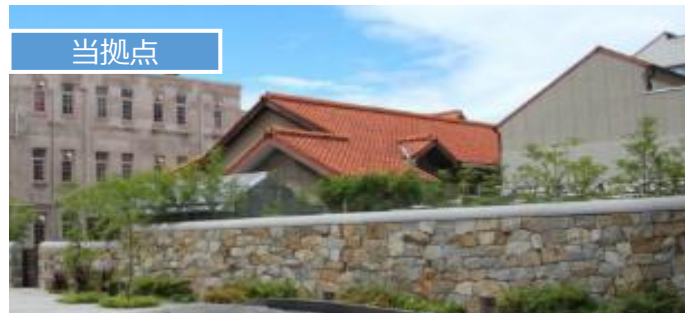
同一法人の倉敷中央病院との連携が容易



- ・現場での臨床研究/治験の実施
- ・医師、医療者へヒアリングする場を提供



### 大原記念倉敷中央医療機構



## 現場ヒアリングの実例

### ●株式会社サイアメント

「術野(surgical field)」を体感する次世代医用画像  
ビューワーViewtify®と裸眼3Dモニター

- 2023年9月29日 倉敷中央病院にて製品の  
デモンストレーション開催

15診療科（約40名）の医師に実際に体験



- 希望があった3診療科で製品導入（2024年6月28日稼働）
- 評価目的の臨床研究を開始



### ●Ghoonuts（グーナッツ）株式会社

失語症トレーニングアプリの現場ヒアリング

- 2024年10月10日 倉敷中央病院 言語聴覚士向けに  
デモンストレーションを開催
- アプリの説明会、実際にアプリを体験
- 参加者へ現場ニーズ等をアンケート調査  
➡ 集計結果は企業へフィードバック



## 各人材の専門分野やバックグラウンド

事業化人材



**安田 研一**  
医療機器事業に係る豊富な実務経験と知識に基づき、事業化までの実務伴奏支援を致します。  
・開発、事業化コンサルタント  
・一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ評議員  
・株式会社日本医工研究所PLAN-ETプログラムアクセラレーター  
・筑波大学つくば臨床医学研究開発機構リサーチスタジオメンター



**原 正彦**  
医療者と起業家の2つの視点と経験から医療機器の事業化をサポートします。  
・医師（医学博士）  
・株式会社mediVR代表取締役社長  
・株式会社iDevice代表取締役会長  
・日本臨床研究学会 代表理事  
・島根大学 地域包括ケア教育研究センター客室教授

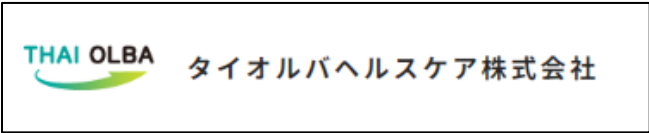


**藤原 崇志**  
現役の医師として、ニーズ評価から臨床研究まで皆様の医療機器開発を支援します。  
・医師（医学博士）  
・公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 臨床医学研究所  
臨床研究支援センター副センター長  
医療機器開発部 副部長  
・公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 耳鼻咽喉科 医長



※次世代医療機器整備等事業の採択拠点

連携先企業





# 本事業でのこれまでの取り組み①

## 医工連携コミュニティの形成

## イベントの開催、各大学との合同企画へ参加・後援

ヘルスケア分野でのイノベーションを推進するピッチイベント  
「Health Tech Innovation Challenge2023」開催



株式会社mediVR  
原 正彦 様

地域イノベーション創出イベント『TOPPA』を開催



アンター株式会社  
中山 俊 様

BIZEN活動発信会での岡山大学との合同企画



「Health Tech Innovation Challenge2024」開催  
2025年1月11日（土）岡山市



東京電機大学  
荒船 龍彦 様

拠点で『第二種医療機器製造販売業許可』を取得

・地域の医療者、企業の医療ニーズ/シーズの開発や上市に向けた支援



ISO 13485の取得支援体制の整備にも着手

# 海外展開支援に関する取組み①



公益財団法人  
大原記念倉敷中央医療機構  
臨床医学研究所



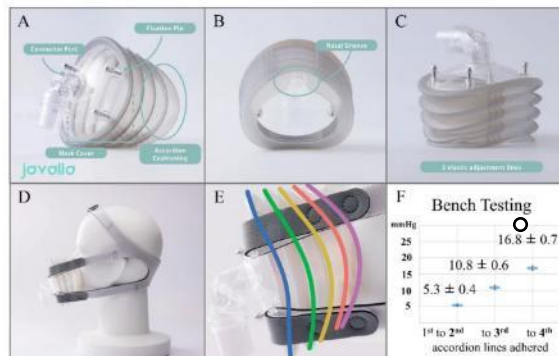
## 海外で上市を目指す企業への支援

国際学会での展示支援  
対PMDA相談に向けた戦略支援



論文 (Critical Care) 投稿支援

Fig. 1



海外でも同様に利用可能  
かを知りたい  
海外の工場で作れるか  
を知りたい

2024年12月 8-13日  
タイ訪問



海外の医療現場で  
受け入れられるかを知りたい

<https://ccforum.biomedcentral.com/articles/10.1186/s13054-024-05133-5>



# 海外展開支援に関する取組み②

## タイオルバヘルスケア社との連携

**タイオルバヘルスケア設立**

合併会社設立（2023年1月26日）  
タイの医療機器輸入販売会社タイオルバヘルスケアに出資・事業開始  
【2023年1月26日設立記念式典 バンコク】

**タイ王国進出の理由**

- ・ASEAN地域の経済的・地理的ハブ機能
- ・今後急速な高齢化を見込む
- ・タイ王国政府が医療産業育成に注力

**医療機器の分野で日本とタイの協働し**

- ・医療・介護を取り巻く様々な課題を解決

日本の技術やアイデアを用い、  
タイ現地での医療機器生産・メンテナンス体制を構築

## NSTDA(国立技術開発庁) へ事業紹介



## 課題の抽出・アドバイス

## PMDA/バンコク事務所



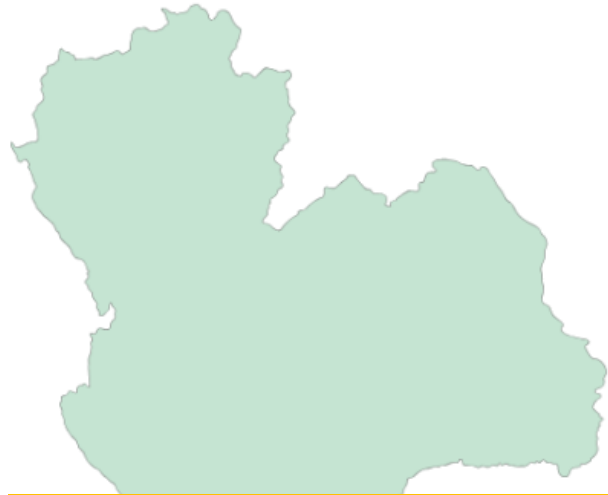
5日間で11施設を視察  
企業2社が同行  
3施設でデモンストレーション実施

現場担当者のアドバイスで、その場で別企業の機器を掛け合わせて実演





# 海外展開支援に関する取組み②



## 事業説明



## 医療機関でのデモンストレーション

